



福王寺だより

初夏、通常であれば各地でイベントが設けられ、北海道で一番良い季節を迎える時期でありますが、コロナウイルスの影響がまだ根強く残っており油断できない状況であります。寺院でも極力気をつけて行事を執行して行きたいと思いません。

しかしながらご心配の方もいらっしゃると思いますので、ご無理なされずにご自身の判断でご参拝ください。

同時(とじじ)

仏教の修行の一つに同時(とじじ)と呼ばれるものがあります。辞書で調べると同じ時、同じ時代等検索されますが、ここでの意味は相手と自分を同じように感じるといふ修行です。

私達は自分と他人、自分と自然、自分と様々なものを分けて考えてしまいます。しかし、仏教では「無我」、自分という絶対的なものは存在しないと説いているのです。

「どういうこと?」と思うでしょう、しかし考

えてみて下さい、あなたの爪は常に同じでしょうか? どんどん伸びて入れ替わっていますよね。血液にしても、皮膚にしても、も、全てが様々な命を頂いて入れ替わっています。

まるで川がそこにある

けれども、水が入れ替わっているように、私という存在も同じではなく、いろいろな縁の中ではじめて存在しています。いかなれば、自然があつての自分で、他人があつての自分で、仏様からみると本来は同じなのです。

とはいえ、中々そんな境地には辿りつけずに、自分にこだわってしまうのが私達です。

しかし、皆があつてこそ自分がいるという事は仏教徒として心に留めて欲しいところです。

「コロナウイルス」、本当に恐ろしいですね。

しかし、こんな時だからこそ「同時」の修行が必要だと感じます。

まず感染した人への配慮です。

もちろん感染した方の不注意もあると思いますが、罹りたくて感染した訳ではありません。しかし、その方への誹謗中傷がひどく、個人名



を晒したり、自宅に石を投げる等の行為、今まで住んでいた土地に住めなくなる等の話を聞きます。これを聞くと、「明日は我が身」と思うと大変恐ろしいです。

現在ニュースでは回復者の方のお話が無いように感じます。感染しても元気で社会復帰できる様子をどんどんと流して欲しいところです。

コロナは恐ろしいので、どうしても自分中心に私達は考えてしまいます。しかしそんな中でも相手の事を思う、自分ごとに考える。そんな「同時」の心と行いが必要になるのだと思います。

こんな状況でも、思い合つて暮らしやすい世の中になることを祈念し、いち早く暮らしが戻ることを祈ります。



画・扇倉石明

お盆

今年はコロナの影響で、故郷に帰ることをためらうのではないか、様々な事情を考慮する事になると思います。

普段は当たり前のように、年に一度でも遠くからお寺にきて、手を合わせて頂く、遠目でみても心温まります。

お寺としては、そうした皆さんが心温める時間を提供できる場所であり、命を感じる場所として存在して行きたい。

またいろんな生活様式が変化しつつありますが、皆さんにとってご先祖さんを含め、心や魂が帰る場所、安心できる場所として在りたいと思います。

情勢がま

だまだ不安定ではあります。但し、行事ごとにお参りしていきま

す。それぞれの判断で随時お参りください。合掌



行事のご案内

「夏下座行」

七月二十日 午前八時三十分

於 津別町福王寺

「地蔵盆(万灯会)」

七月二十四日

午後五時頃集合 六時よりお参り

先祖供養・水子供養・人形供養

八十八ヶ所お参り

(コロナの様子をみながら縮小するかもしれません。)

於 津別町福王寺

「盂蘭盆会」

八月十五日 十三時半 北見別院

八月十六日 十時 津別福王寺

※津別と北見別院お参りの日付違いますので注意下さい。

※コロナの都合で、普段どおりにはできないかもしれませんが、納骨堂等お参りは出来るようになります。

「インターネットを使ったお参り」

昨今のコロナ事情により、都市部から移動できない等の状況があった場合、インターネットを使った会議ソフトを用いて、お参りすることが可能です。

現状、Zoomというアプリで、相互に話しながらお参りする事もさせて頂きました。もしこのような状況でお寺に来る事が出来ない、お参りも一緒に供養したいという方がおられましたらお問い合わせください。

出来る限り対応したいと思います。

また近隣でインターネットにご興味があるけれども、「何を買ったら良いのか?」、「いくらかかるのか?」、「どうやって使うのか」等、どうして良いかわからない方は、ご相談いただければ、出来る限りお手伝い致します。

お気軽にお問い合わせください。合掌

